

ナラタケ病 (armillaria root rot)

Armillariella mellea (Vahl:Fr.) Karst.



木の根元に生えたナラタケ



枯木に生えたナラタケ

発生生態

ナラタケというキノコが引き起こす木の病気です。
ナラタケは生きた木、枯木を問わず、ほとんどの木に生え、生きた木に生えた場合は木を弱らせ、枯らしてしまいます。また、根状菌糸束と呼ばれる、靴紐のような黒い菌糸の束を作り、かなりの乾燥や高温にも耐えます。

防除対策

果樹園等でナラタケによる枯損が発生したら、菌が地中をとって周りの木に広がり、被害が拡大する恐れがあります。被害が広がらないよう、枯れた木を根株まで取り除き、土壌を消毒します。また、木が弱っている場合に発生しやすいので、生育環境等をチェックすることも大切です。